



さいたま市議会議員（2期目）  
市民の目線、初心を忘れずに！

佐伯かずみ

NO.65



佐伯かずみは、性別・年齢・障害・国籍に関わらず誰もが参画できる  
元気なチームさいたま市を目指します。

## 9月議会終了！（9/6～10/20）

■「（仮称）放課後子ども居場所事業として、希望するすべての児童に放課後の居場所を確保するために、学校余裕教室等を活用した新規モデル事業実施にむけた関連議案が成立。

私たちの会派からは、十分に時間をかけて議論されたと言い難く、民間学童への影響や質の担保、子どもたちの安全など、モデル事業において徹底した検証を行うようにと要望しました。

■9月議会では、2022年度の決算審査も行いました。さいたま市の財政状況は健全化判断比率などからも良好となっています。

### 【決算審査：保健福祉委員会関連で質疑】

■「障がい者の社会参加事業」について。一昨年と変更なく、しいて言えばここ7年間同じ事業の焼き直しです。また、視覚障害者など多様な障がい者の社会参加について取り入れられておらず、社会が大きく変化している中でニーズをしっかりと把握しそれを事業に生かしていくことが必要だと求めました。

■介護職においても女性の管理職が増えるよう、必須研修の組み立てや設定を受けやすくすべきと要望しました。認知症実践者研修は朝8時半から18時半まで4日間プラス実務経験1か月。それが年に1回しかありません。これでは小さい子どものいる方やシングルマザーの方はなかなか受けられません。



【失語症者向け意思疎通支援に関する決議が採択されました！】日本に30万人とも50万人いるともいわれる失語症者。その方々を支援する支援員の派遣事業がさいたま市にはありません。昨年の保健福祉委員会で私が質問した内容です。決議が可決され、来年度以降体制が整ってくることとなります。

### NHK 交響楽団特別公演 パフロ・エラス・カサド&牛田智大

2月18日(日)16時30分開演

RaiBoc Hall(市民会館おおみや)

S席 6,000円、A席 5,500円、B席 5,000円

問い合わせ:048-866-4600 Sacla

## いわゆる今回の「お留守番禁止条例」に思う

埼玉県をにぎわせた「児童虐待禁止条例の一部を改正する条例(案)」は、子ども1人でのお留守番や登下校、子ども同士で遊びに行くことすらも虐待とみなすものであり、現実の子育て環境からかけ離れた条例に県内外を問わず各地から反対の声が集まり、その声はカタチとなり、結果、県議会で取り下げに至った。

まだ私が小学校低学年のころ、学校から帰ったら10円のおこづかいをもらって、公園の近くの駄菓子さんでお菓子を買って、それをもって公園で友達と食べながら5時の鐘が鳴るまで遊んだのは今もなお楽しかった思い出である。それが今度は親も一緒についてくるなんて、、、ときっと子どもの時の私はうっとおしいと思ったことであろう。

また、私はほぼワンオペであったので、自分が病気の時、小学校に入りたての長男にアパートの下のスーパーに買いものについてもらったこともある。逆に熱が出て寝ている子どもを急いで買い物にいったこともある。こういった状況を経験している方はかなりいらっしゃるだろうし、今回の条例にモヤモヤされたことであろう。

今回の一件の根底にあるものは、ジェンダー問題に他ならないと感じる。主に子育てを担うママたちはケア労働に追いやられ、職に就く自由も制限される。ただでさえ苦しい子育てを強いられることにも気づかず、虐待という言葉でさらに追い込むものとなる。これにはママだけでなく、パパも、おじいちゃんやおばあちゃんたちも当事者となってみんなで声をあげ、それが届いて取り下げとなった。

今までジェンダー問題は多くの当事者は一部の女性であった。しかし今回は違い、多くの人を巻き込んだ問題となったのだ。ここで大切なのは、何故このようなことが起きてしまったのかということ、その背景や原因をみんなで見つめることではないだろうか。何故ならそれは実際に身近に起きている様々な問題の根底にもつながっているであろうから。

政治は身近な暮らしだと多くの方々が感じた今回のできごと。今の制度や風土を変えていくことが暮らしをよくしていくことにつながっていくのだとあらためて強く感じる。

### 【映画見てきました！】あさぬーの MovieReport 🍿 (あさぬーは佐伯かずみ応援団)

#### 『ジョンウィック コンセクエンス』

伝説の殺し屋ジョンウィックシリーズの第4弾で、全てを失った主人公の復讐を描く。もはや芸術とも称されるアクションシーンは見る側も血が滾り、真田広之、ドニー・イェンなど名優との共演も胸熱だ。テーマの「復讐」は赤穂浪士や半沢直樹など復讐劇に共感しやすいとされる日本人との相性もいい。前作のサブタイトル「パラバラム」はローマの古いことわざ「Si vis pacem, para bellum (汝平和を欲せば、戦いに備えよ)」に由来しているが、今作は「コンセクエンス(帰結/結果)」となっている。3時間の長丁場だが最後まで見逃すな！！



### 朝の市政報告・レポート配布も先日500回目となりました！

当選以来ずっと続けているこの活動は、途中コロナで計1年半中断しましたが、この4年半で500回となりました。みなさんの声を直接お聞きし、またお顔を見てレポートをお渡しできる貴重な機会でもあり、これからも続けていきたいと思っています。

その他、自転車で防犯を兼ねての街宣、毎月1回の佐伯カフェでもみなさんのご意見をお聞かせください。LineでもOK！！右のQRコードから。合わせて市や私の情報も流しています。

